

5. 令和3年度 仙台市立仙台高等学校経営基本方針

1. 基本的な考え

「自主自立」の理念を根本に捉え、意欲に溢れ、人間性豊かな、真に力のある人間を育てる。

生徒が未来へ向かって、視線を高く持ち、自らの目標に向かう心を育てるとともに、他者を思いやる心を涵養する環境を醸成、支援して行く。社会の有為者として、また堅実な生活者として、更には日本の将来を牽引する人材、国際的感覚を持った人材を育成する。

2. 経営の方針

(1) 社会の一員として自立できる人間を育成する。

①仙高生の良さを更に伸ばし、自己の存在を肯定的に捉えられる生徒を育成する。

②他者を思いやり、周囲とのコミュニケーションが十分にとれる力を育成する。

(2) 生徒の「生きる力」を充実させる。

①進路目標をしっかりと持ち、妥協することなく追い求める姿勢を育成する。

②授業こそが学力向上の鍵であることを再確認し、生徒が積極的に授業に取り組む姿勢を涵養すると同時に教師の授業力・作問能力を一層向上させる。

③文武両道を掲げつつ、学業と部活動等の高いレベルでの両立を求めていく。

④奉仕的活動等、生徒の新たな可能性を引き出す活動を支援する。

(3) 社会に向かって開かれた学校・安心安全な学校づくりを進める。

①タイムリーかつ的確に情報を発信することで、社会と連携した学校づくりを行う。

②「東日本大震災」を踏まえ安心安全な学校づくりを行うとともに、地域と連携した防災教育のあり方を具現化していく。

(4) 組織として円滑に対応できる学校をつくる。

①情報を共有することで、学校一丸となった教育活動を展開する。

②組織間、職員間の連携を図り、組織としての対応力を向上させる。

3. 令和3年度 重点目標

(1) 心身の健康と安心安全な環境の整備

未来を創造する青年を育成するため、心身ともに健康で、安心して学校生活を送れるよう、個々の生徒に応じた支援を行い、自己肯定感を育む環境を実現する。また、安全を第一にした施設管理・整備を進める。

(2) 主体的に学ぶ学習活動の推進

少人数授業の利点を活かし、「主体的・対話的で深い学び」の観点から、授業等におけるICT機器等の使用を含めた授業改善を全ての教科で進め、生徒の他者と協働しながら課題解決をする力、複雑・多様で予測困難な未来を乗り越え、豊かな人生を切り拓く力を育む。

(3) 生徒諸活動の支援

特別活動や部活動、仙台高校版キャリア教育(フェニックスプラン)等を通し、集団の合意形成や意思決定を経験することで、自他を尊重し人間関係構築の力を育む。また、創立80周年を、生徒が互いを認め合う場の創出と、自己の活動に自信を持って進む契機とする。

(4) 好循環を生む教育環境の創造

本校の特色を生かした教育課程の編成・実施を通して、本校のあるべき教育活動を検証するとともに、絶えず評価と改善をくり返し行う「カリキュラム・マネジメント」に全職員が関わることで諸活動が有機的に結びつくよう改善を進める。